

内藤記念くすり博物館 平成19年度企画展

くすり

はかり

薬と秤

量によって毒にも薬にも

薬は人類の歴史と共にありました。太古の昔から人々は大自然の中で狩猟をし、草木を食べて生活してきましたが、同時に薬になるもの、毒になるものを経験的に知ることになりました。近代になり、自然のものから有効成分だけを抽出するようになると、有効性と安全性のために「量」が極めて重要になりました。すなわち、「薬は両刃の剣」と言われるように、いかなる特効薬も量を誤ると生命を脅かしかねません。

「量」をはかる道具は「秤」です。秤の歴史も古く、エジプトでは紀元前五千年頃のものと思われる秤が発見されています。最初の秤は、一本の棒の中心を支点にして両端に皿を取り付けてバランスをとり、片方に錘をのせてはかる「天秤」です。ローマ時代には「桿秤」が発明されました。

古くは安土桃山時代のものを含む千種類を超える「はかる道具（度量衡）」を収蔵していますが、中には江戸時代の両替天秤や薬匙、明治時代の上皿天秤（調剤天秤）や大きな千木秤など、貴重な資料も少なくありません。過去の「はかる世界」に思いを馳せてご覧ください。



平成19年度企画展

薬と秤

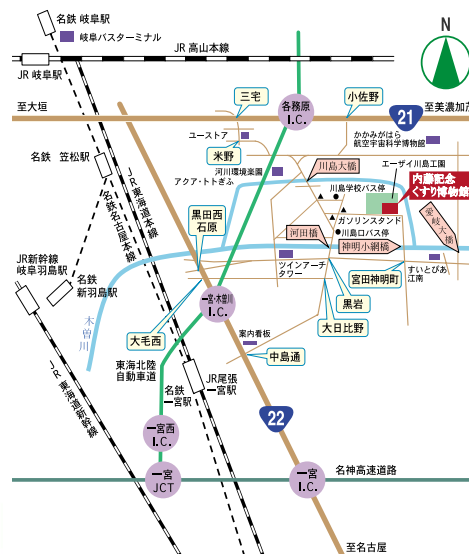
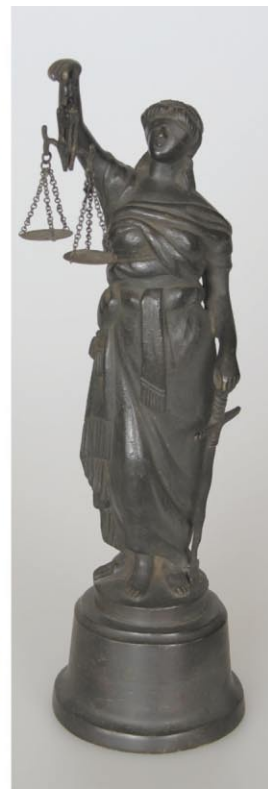
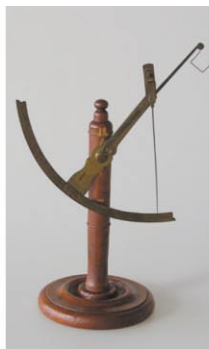
量によって毒にも薬にも

平成19年7月12日(木)～平成20年3月30日(日)

開館時間: 9時～16時

休館日: 毎週月曜日・年末年始

入場無料



内藤記念くすり博物館

〒501-6195 各務原市川島竹早町1
TEL (0586) 89-2101 / FAX (0586) 89-2197
<http://www.eisai.co.jp/museum/>

【交通のご案内】

■ 岐阜より

- 岐阜バス「川島松倉」行「川島中学前」下車(40分)、徒歩1.5km
- 車で15km(40分)

■ 新幹線岐阜羽島駅より

- 車で18km(50分)

■ 名古屋より

- JR東海道線「尾張一宮」で下車(20分)バスかタクシー乗換え
- 名鉄名古屋本線「名鉄一宮」で下車(20分)バスかタクシー乗換え

■ 一宮より

- 車で一宮 I.C.より12km(35分)
- 名鉄バス「川島」行きで「川島口」下車(35分)徒歩1.5km